

# 社会科が苦手な子に対する経済教育

---

佐藤 英司 (SATOHI EIJI)

福島大学経済経営学類

E-mail: [esatoh@econ.fukushima-u.ac.jp](mailto:esatoh@econ.fukushima-u.ac.jp)

# 社会科が苦手な子

1. 「暗記嫌い」で社会科が苦手  
→ 「暗記学習」からの脱却
2. (どの教科であれ) 勉強が嫌い  
→ 興味を持ってもらう工夫
3. 難しくて考えるのが嫌い  
→ 身近で具体的な状況で考える

# 1. 「暗記学習」からの脱却

---

# 1.1 「独占価格」について教えない (1)

## 教科書の太字を穴埋めにした要点プリント

### 独占価格

価格の働きがうまく機能しなくなる原因の一つとして（独占）と（寡占）が挙げられます。

- （独占）：市場で商品を提供する企業が1社
- （寡占）：市場で商品を提供する企業が少数

（独占）と（寡占）の場合は価格競争が弱まり、一つの企業が独断で、あるいは少数の企業が足並みをそろえて決める価格のことを（独占価格）という。

価格競争が弱まると、消費者は不当に高い価格を支払わせることになりかねない。

競争をうながすために（独占禁止法）が制定され、（公正取引委員会）がその運用にあたっています。

# 1.1 「独占価格」について教えない (2)

## 独占価格

価格の働きがうまく機能しなくなる原因の一つとして ( ) と ( ) が挙げられます。

- ( ) : 市場で商品を提供する企業が1社
- ( ) : 市場で商品を提供する企業が少数

( ) と ( ) の場合は価格競争が弱まり、一つの企業が独断で、あるいは少数の企業が足並みをそろえて決める価格のことを ( ) という。

価格競争が弱まると、消費者は不当に高い価格を支払わせることになりかねない。

競争をうながすために ( ) が制定され、( ) がその運用にあたっています。

生徒は、まず「穴埋め」しようとする

- 期末考査で専門用語を知っているかを問う

→ 穴埋めができるかどうかが大重要 = 暗記学習 3/49

# 1.1 「独占価格」について教えたい (3)

どれも重要な専門用語

- 独占
- 寡占
- 独占価格
- 独占禁止法
- 公正取引委員会

概念的知識（最も理解してほしいこと）は？

## 1.1 「独占価格」について教えない (4)

概念的知識：競争が社会を良くする

(= 競争によって資源配分が効率的になる)

「競争をうながすために独占禁止法が制定され  
公正取引委員会がその運用にあたっています」

- 独占や寡占では、競争が阻害されやすい
- 「独占禁止法」や「公正取引委員会」は  
現実の社会制度を知る上で重要  
→ 生徒が現実の社会に目を向けるため

## 1.2 「価格の働き」について教えない (1)

日本文教出版「公民的分野」における記述

- 「需要量と供給量がつり合い、生産者も消費者も希望通りに取り引きできる価格を均衡価格」
- 「市場で売買されている商品の価格（市場価格）が均衡価格より低ければ」

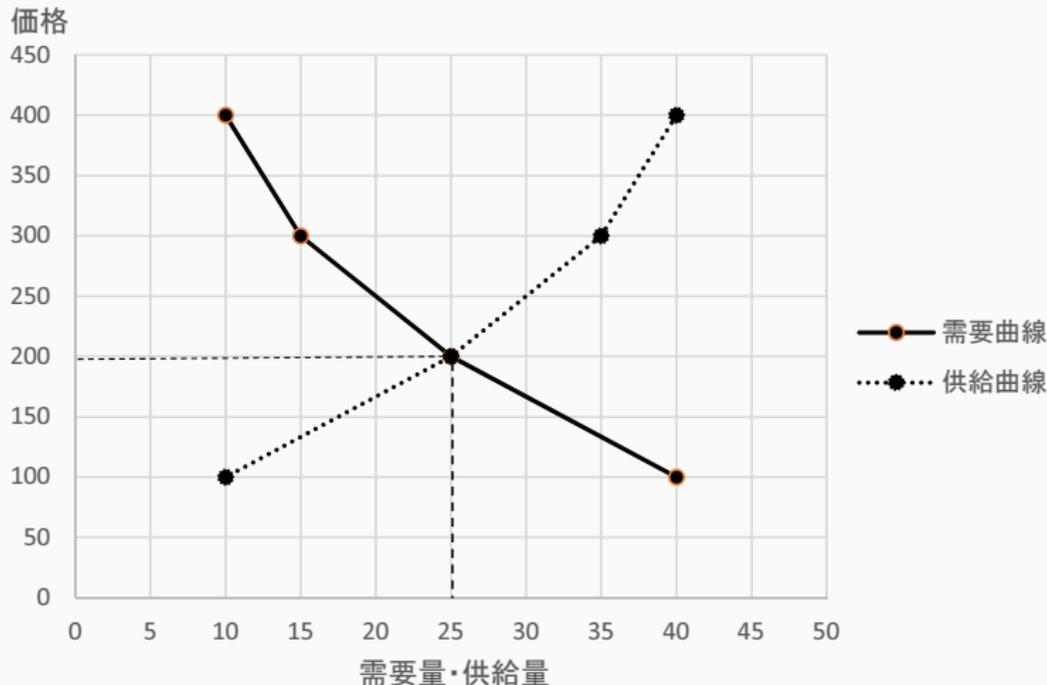
→ 教科書で書かれていることがよくわからない

愛 = 一番理解してほしいことが何かわからない

⇒ とりあえず太字を覚えれば良い？

## 1.2 「価格の働き」について教えたい (2)

需要曲線と供給曲線の図を描いて教えれば良い？



## 1.2 「価格の働き」について教えない (3)

### 経済学で説明するときのツール

- 需要曲線や供給曲線
- 市場均衡（均衡価格）

### ＝ 経済現象を理屈（経済理論）で説明

- 論理的思考・説明力がないと  
理屈を使いこなせない
- **理屈を暗記しても何の役にも立たない**

## 1.2 「価格の働き」について教えたい (4)

競争によって企業は他企業よりも消費者に選ばれるように（自発的に）行動

- 値下げ
- 製品の質の向上

→ 消費者にとって良い

⇒ 競争が社会を良くする

## 1.2 「価格の働き」について教えたい (5)

競争が社会を良くすることを理解させる

- 核心的な問いを生徒に考えさせる  
＝ 企業はどうしたら消費者に自社製品を選んでもらえるか  
→ 「消費者にとって良いことを企業が自発的に行動する」ことへの気づき
- 概念的知識の汎用：競争が阻害されている例
- 公正取引委員会「独占禁止法教室」の利用

⇒ 暗記学習から脱却・社会のしくみの学習

## 1.2 「価格の働き」について教えない (6)

需要・供給の分析を教えないならば

### 1. 競争的市場における4つの命題の理解

- (i) 買い手の気持ち（需要曲線は右下がり）
- (ii) 売り手の気持ち（供給曲線は右上がり）
- (iii) 超過需要のとき値上げできる
- (iv) 超過供給のとき値下げせざるをえない

### 2. 論理的展開（汎用）の反復練習

競争的市場の仮定や価格以外の要因が一定の状況であることに注意

反復練習をさぼると暗記学習に逆戻り

## 1.3 「金融」について教えたい (1)

東京書籍「公民」：金融について6ページ分

1. 貨幣の役割と金融
2. 私たちの生活と金融機関
3. 景気と金融政策

→ 「見開き1ページ」だけで完結しない

## 1.3 「金融」について教えたい (2)

### 概念的知識を念頭に再構成

- 「金融の役割」  
社会におけるお金の貸し借り
  1. 貨幣の役割と金融
  2. 私たちの生活と金融機関
- 「金融の活用」  
金融を活用すると景気をコントロールできる
  3. 景気と金融政策

## 1.3 「金融」について教えたい (3)

### 社会におけるお金の貸し借り

- 消費や設備投資をしたいけどお金がない  
友人や親戚以外から借りるとすると？  
→ さまざまな金融機関の存在
- 知っている人にお金を貸すことと  
知らない人にお金を貸すことの違いは？  
→ 金利とその決定
- 銀行もお金がなくなる？  
→ 日本銀行の存在

## 1.3 「金融」について教えたい (4)

資産運用は「金融」で教えることか？

- 金融を考える上で金利は欠かせない  
＝ **リスク**（とリターン）についての学習
- 株式投資 ＝ **企業への出資**（直接金融）  
→ **株式会社のしくみや関わり方**の学習
- 自助努力を促す社会的要請
- 資産運用は、あくまで個人の「お金の使い方」  
⇒ 資産運用を通じて何を理解してほしいか次第
- 金融経済教育推進機構のさまざまな教材

## 1.4 小括 (1)

中学で経済を学ぶ = 共同体からの跳躍

1. 共同体（顔の見えるつながり）
2. 市場（顔の見えない多数の人とのつながり）

共同体の考え方と市場の考え方はしばしば対立

- 一方の考え方だけで社会はより良くなるならない

→ 二刀流の必要性

## 1.4 小括 (2)

「暗記学習」からの脱却

= 単元・経済分野での**概念的知識の習得**

- **市場の考え方**
- 概念的知識は汎用性を持ち，蓋然性が高い  
→ **生徒が社会について考える**ことを可能

各単元での概念的知識がわからないときは

- 指導要領や解説書
- すでにある優れた教材
- 経済教育ネットワークの活用

## 2. 興味を持ってもらう工夫

---

## 2.1 「消費生活と経済」について教えたい (1)

### 東京書籍「公民」1節「消費生活と経済」

1. 私たちの消費生活
2. 契約と消費生活
3. 消費者の権利を守るために
4. 消費生活を支える流通

「経済」の導入で、生徒に何を理解してほしい？  
契約や消費者の権利は「経済」か？

## 2.1 「消費生活と経済」について教えたたい (2)

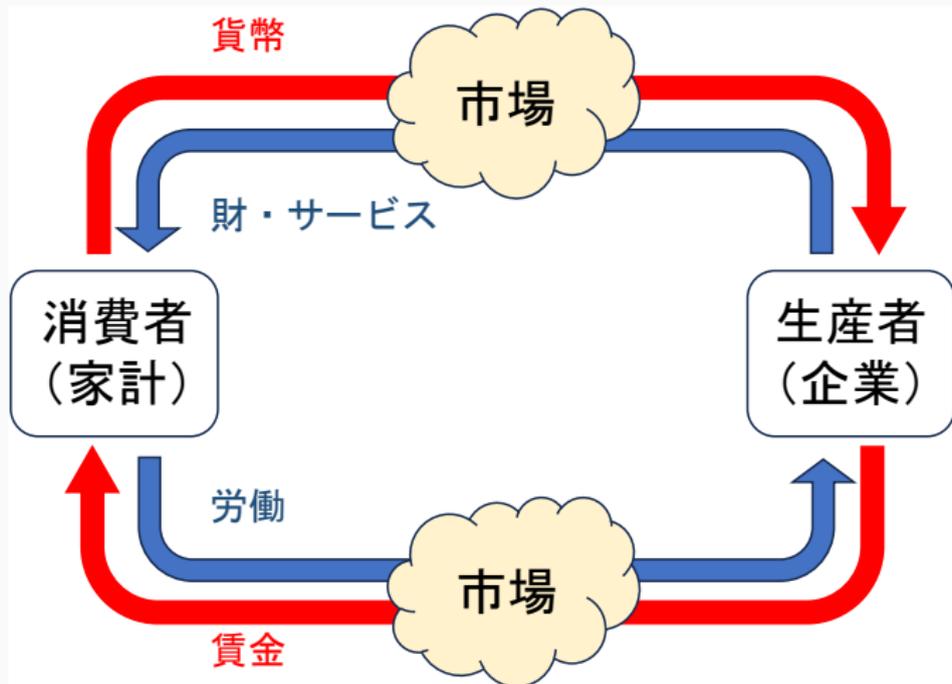
消費をする（財の購入） = 経済活動の一つ

- さまざまな消費をすることで  
生徒は知らず知らずと社会に関わっている
- 財の購入 = 契約  
→ 自立した消費者になろう
- 消費者に財が届くまで（流通）

一つの流れとして良い（理解しやすい）が、  
当たり前のことを改めて学んでも興味はわかない  
⇒ 学習する意味がわからない

## 2.1 「消費生活と経済」について教えたたい (3)

経済活動 = 市場を通じた取引



## 2.1 「消費生活と経済」について教えたい (4)

財を購入する消費者の視点に限定しない

- 生産者の視点
- 労働供給を行う家計の視点
- 労働者を雇う企業の視点

今までとは違った視点から物事（社会）を見る  
→ 興味を持つきっかけ

## 2.1 「消費生活と経済」について教えたい (5)

生産者の視点での経済分野全体を貫くストーリー  
→ (仮に) ラーメン店を開業して生計を立てる

1. 自分の店舗内での課題
2. 市場内でのあり方
3. 日本経済・グローバル経済との関わり

中学生向き教材

知るぽると (金融広報中央委員会)

「私たち中学生で会社をつくろう

—模擬起業体験を通して、経済の仕組みを学ぼう—」

## 2.1 「消費生活と経済」について教えたい (6)

(仮に) ラーメン店を開業して生計を立てる

### 2. 市場内でのあり方

1. 独占市場を想定としたときの企業行動  
独占価格・価格差別・消費者保護
2. 寡占市場における競争  
価格競争・技術革新・カルテル
3. 競争的市場の均衡  
需要と供給・正の外部性・市場均衡の変化

## 2.1 「消費生活と経済」について教えたい (7)

### ラーメン店開業をモデル化

- 分析したい箇所以外は一定  
e.g. 同じ製品に対する価格だけの競争  
→ **概念的知識の習得**
- 分析したい箇所以外が現実には複雑  
一定とした条件を現実に即してゆるめる  
→ **概念的知識の深化**

需要と供給の分析において、一定とした条件を現実に即してゆるめることができるのは需要・供給曲線がシフトするときに限られることに注意

## 2.1 「消費生活と経済」について教えたい (8)

ラーメン店が利潤をできるだけ増やそうとする

→ (生徒や先生の発案) 情報の格差の活用

- 低品質の財を販売するために真の品質を隠す
- 品質を伝える行動 (シグナリング)

⇒ **すべての企業**が正しい情報を伝えないと

友美良品が売れない

⇒ **品質に関する情報を正しく公開**させる必要性

## 2.1 「消費生活と経済」について教えたい (9)

品質に関する情報を正しく公開することの意義

= 市場において**良品が選ばれる**

- 「消費者が適切に選択する」ことが前提

→ 消費者の自主的かつ合理的選択を促すルール

- 消費者基本法
- 消費者契約法
- 景品表示法

= **競争の促進**

## 2.1 「消費生活と経済」について教えない (10)

消費者保護の対象 = 一般消費者

- 子供向けおもちゃ  
→ 子供が「一般消費者」
- 一般レベルの常識をもった消費者

(競争によって) 社会が良くなるためには、消費者が消費生活に関する知識や技能を習得して適切に行動する必要

1. 市場における企業の行動
2. 市場における消費者の行動

## 2.1 「消費生活と経済」について教えたい (11)

経済学を学ぶ上での大前提: 希少性  
合理的選択を考えるために重要な概念

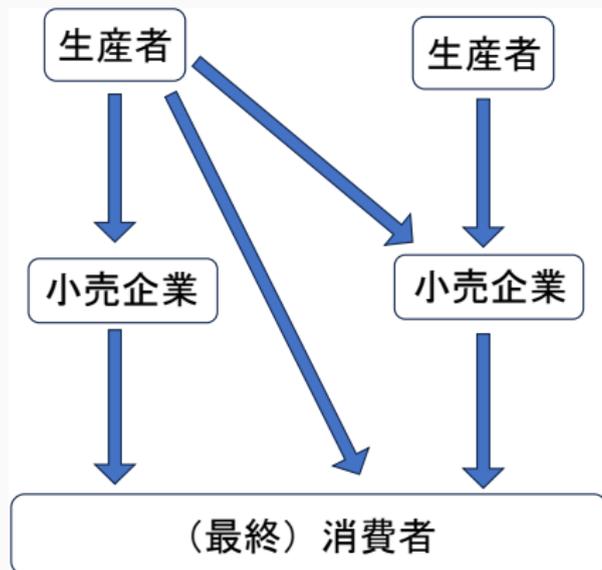
- トレードオフ
- 機会費用

希少性を改めて教えても理解はするが、  
それで何がわかったかに直接的にはつながらない

- 公理のようなもの  
→ 中学で明示的に教える必要はない
- 生徒は直感的に理解しているのでは？

## 2.2 「流通」について教えたい (1)

消費者に財が届くまでの流れ：流通



中学生であればなんとなく気がついていて

## 2.2 「流通」について教えたい (2)

利潤最大化のために生産

= 自給自足の目的ではない

- 生産する人と消費する人が異なる
- 生産する場所と消費する場所が異なる
- 生産する時間と消費する時間が異なる

→ 生産と消費の橋渡し = 流通

概念的知識：分業のあり方

## 2.2 「流通」について教えたい (3)

概念的知識：分業のあり方

ラーメン店であれば

- 麺を仕入れる = 他のことに集中できる
- 自家製麺にする = オリジナリティの強化

消費者に選ばれるための戦略を考える

→ 社会の中での個人のあり方を考える

## 2.3 小括

直感的にわかっていることの学習

→ 興味を持つ工夫

### 1. 一貫したストーリー作り

- 学ぶこと全体の中で、今学んでいることが位置付けられる
- 概念的知識の深化

### 2. 今までとは違った視点の提供

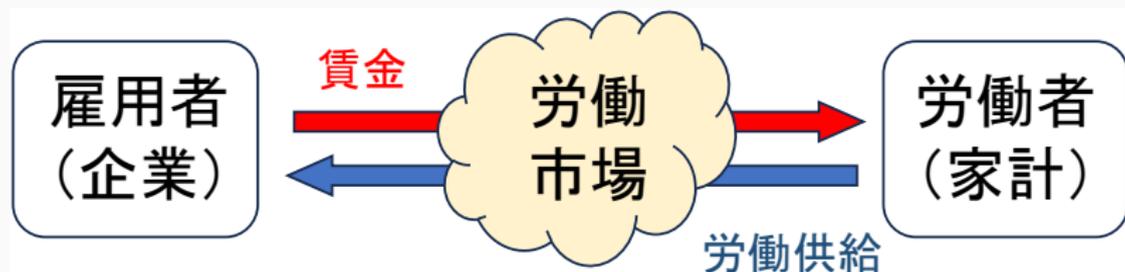
### 3. 身近で具体的な状況で考える

---

### 3.1 「労働」について教えたい (1)

労働市場

= 家計が労働力を供給・企業が労働力を需要



## 3.1 「労働」について教えない (2)

### 労働市場においても競争

- 企業は労働者に選ばれるように行動
  - 高賃金での労働力需要
  - 待遇の「差別化」  
＝ 福利厚生・労働環境の改善
- 労働者は企業に選ばれるように行動
  - **低賃金での労働力供給**
  - 労働者の「差別化」  
＝ さまざまな技能の習得

## 3.1 「労働」について教えたい (3)

労働者 = 人間

- 労働市場：「労働力」の取引  
労働者という人間自体の取引ではない
- **人間の尊重** = **人間が人間らしく生きる必要**  
→ 労働三法を含め、様々な**法制度**

高校生向け教材

厚生労働省

『確かめよう労働条件』ポータルサイト  
「『はたらく』へのトビラ」

## 3.1 「労働」について教えたい (4)

- 労働者が人間らしく生きているのか
- 人間らしくないのであれば  
どうしたら人間らしく生きられるのか

簡単な問いではない（一意な答えもない）

- **抽象的な議論**はどこから攻めたらよいか  
わからない
- 考えるのが苦手な生徒なら  
考えることを放棄しかねない

→ **身近な話題・世間的な話題で具体的な議論**

## 3.1 「労働」について教えたい (5)

クラス全員で学校の清掃をする必要でも掃除を免除してほしい生徒がいる

- 体調の悪い生徒
- 幼い弟の世話をする必要のある生徒
- 甲子園出場間近の野球部エース
- 推しのライブに行く予定の生徒

当日に免除を申し出て認める？認めない？

## 3.1 「労働」について教えたい (6)

労働契約で「午前9時から午後5時まで勤務」でも早退したい労働者がいる

- 体調の悪い労働者
- 幼い子供の世話をする必要のある労働者
- スキルアップのために通学する労働者
- 推しのライブに行く予定の労働者

当日に早退を申し出て認める？認めない？

## 3.1 「労働」について教えたい (7)

学校の清掃をする必要

→ 先生が「きれいになるまで清掃を終えてはいけない」と言った

- 細かいところに気がつかない生徒
  - 毎日長時間清掃に従事
  - ⇒ 休み時間がいつもない

これで良い？

## 3.1 「労働」について教えたい (8)

根本的問題：効率と公正

- 市場の考え方 = 効率性の追求
- 人間の尊重  
→ 共同体の考え方が有効
- 市場の考え方を無視してよいわけでもない

まず生徒にとって身近・具体的な状況で根本的問題を考えさせる

→ 次に社会課題を考えさせる

## 3.2 「財政」について教えたい (1)

(経済から見たときの) 政府の役割

- 市場のルール設定
- 公共投資 (インフラ整備・行政サービス提供)
- 所得再分配
- (景気のコントロールとしての) 財政政策

→ 市場でできないが**社会で必要なこと**を提供

1. 社会で必要なことって具体的には？
2. そのためのお金どうやって集める？

## 3.2 「財政」について教えたい (2)

### 財政の主な問題

1. 社会で必要なことって具体的には？
2. そのためのお金どうやって集める？

1. 社会で必要なことって具体的には？

→ 日本の国家予算を生徒に考えさせる

財務省 財政教育プログラム (小中学生向け)

日本が100人の村で100万円の予算だったら？

というシミュレーション

## 3.2 「財政」について教えたい (3)

### 日本の国家予算を生徒に考えさせる

- 日本の予算は身近ではない  
→ 政治家や官僚が考えれば良いと考えがち
- 財政支出先が多すぎ = 多様な社会課題  
→ 考えることが多すぎて的がしぼれない
- 財政で特に考えさせたいのは**社会保障**  
社会保険・公的扶助・社会福祉・公衆衛生  
根本的問題：**自助・公助・共助**

⇒ まず**身近・具体的な状況**で**自助・公助・共助**を考えさせる

## 3.2 「財政」について教えたい (4)

身近・具体的な状況における自助・公助・共助

- 数学の授業がわからない
  - 自分で参考書など読む？
  - 友達に教えてもらう？
  - 先生が補習授業を行う？
- 教科書を忘れた
  - 自宅へ取りに帰る？
  - 友達が見せてあげる？
  - 先生が予備を貸し出す？

→ それぞれの**役割と連携の必要性**の理解

## 3.2 「財政」について教えたい (5)

自助・公助・共助の役割と連携の必要性の理解

→ 次に社会課題を考えさせる

- 児童の登下校の見守り（犯罪・事故防止）
  - 児童自身が注意をする？
  - 近所の人ボランティア？
  - 警察のパトロール？
- 高齢者の介護
  - 自分で工夫や準備をさせる？
  - 家族や近所の人を手伝う？
  - 介護保険制度？

## 3.2 「財政」について教えたい (6)

### 2. お金どうやって集める？(歳入の問題)

根本的問題：垂直的平等か水平的平等

根本的問題：応益負担か応能負担

→ 生徒にとって身近・具体的な状況で考える

部活動の運営費どうやって集めるか

- 所得の高い家の生徒が多く払う？
- 部員一律にする？
- 用具を多く利用する生徒が多く払う？

## 3.3 小括 (1)

労働・社会保障など

= 市場の考え方だけでは特に通用しない分野

- 人間の尊重
- 共同体の考え方が有効
- 市場の考え方を無視してよいわけでもない

→ 共同体の考え方と市場の考え方の二刀流

⇒ 社会課題と解決策を考えさせたい

## 3.3 小括 (2)

社会課題と解決策を考えさせたい

- 社会課題は複雑で難解  
→ 糸口すら見つけられない
1. 社会課題における根本的問題を探る
  2. 生徒にとって**身近・具体的な状況**で根本的問題を考えさせる  
→ **根本的問題に対する基本的考え方の習得**
  3. 社会課題を考えさせる

# まとめ

## 社会科が苦手な子に対して

1. 「暗記学習」からの脱却
2. 興味を持ってもらう工夫
3. 身近で具体的な状況での思考